

堂谷津の里 自然だより

2022年 5月



2022. 5. 15

水を張った田んぼは6月の田植えを待つばかり。爽やかな日が続かず、チョウやトンボなどのムシたちもストレスが溜まりそうです。コロナ禍にありますが初夏の里山歩きを楽しみませんか。林の中には可憐な花が咲いています。

チョウたちの レストラン 「堂谷津」



ツマグロヒョウモン



ベニシジミ



キタテハ



ダイミョウセセリ



ヒメウラナミジャノメ



ヒメキマダラセセリ



モンシロチョウ



ナミアゲハ



ワニグチソウ



ミヤマナルコ



ナルコユリ



クサナギオゴケ



ヤマタツナミソウ



フタリシスカ



ハルジオンに集まるムシたち

①ヤブキリ(幼虫)②アシナゴコガネ③コチャバナセセリ
④クロハナムグリ⑤コアオハナムグリ⑥ナミハナアブ

<季節メモ>

シュレーゲルアオガエル

シュレーゲルアオガエルの声が谷津に響き渡る。名前は本種の研究に携わったシュレーゲル博士に由来、れっきとした日本固有種である。鳴き声は聞こえるが姿は見えずなかなか会えないカエル。畔に穴を掘り、泡に包まれた卵を産む。この時期はオタマジャクシを見ることができる。

カエルは両生類、水中と陸の両方で生活する。子どものときは水中でえら呼吸、親になると陸でも生活、肺と皮膚の呼吸に変わる。なじみ深いアマガエルは、天敵から身を守るため毒を分泌する。触るのはよいがその手で目をこすったり、ものを食べたりはしないように。

写真・編集：晝間